

ちいさなたね【幼児おたより】

うさぎ組・ひつじ組・ぞう組

2020年度 9月

聖和乳幼児保育センター

一段と暑さが厳しい夏ですが、プールや水遊び、色水遊びなど水の冷たさや涼しさを感じながら元気に過ごしました。初めての大きなプールにドキドキしていた子どもたちも、回を重ねることに慣れ、四つ這いで歩いてワニになりきったり、底に沈むおもちゃを集めたり、それぞれができることを全身で楽しんでいました。

室内で過ごすことも多かったこの夏は、みんなで集団ゲームやリズム遊びを楽しみました。一生懸命ルール説明を聞き、ゲームを楽しむ中で工夫をしてみたり、ピアノの音に合わせて精一杯体を動かす姿が見られました。

まだまだ厳しい暑さが続きますが、今月は園庭に出て、体操やかけっこ、巧技台や平均台などの遊具を使った運動遊びを予定しています。「やってみよう！」と思う気持ちを大切に、達成した喜びを感じたり、「もう1回！」と挑戦したりしながら遊びたいと思います。園で楽しかったこと、できたこと、挑戦したことをぜひたくさん聞いてみてくださいね。



6月から育てている枝豆が、ついに収穫の時を迎えました。採れたての枝豆を塩茹でし、おやつ時間に食べている時のことです。

「おいしい！」
「食べれてよかった〜。」と、それぞれが喜びを噛みしめていました。そんな中、ある男の子がこう言いました。

「先生！次は何作ろうか？」

★収穫の喜び、おいしさを知った子どものまっすぐな一言でした。

厳しい暑さの中でもプール遊びや色水遊び、泥んこ遊び、シャボン玉遊びなど夏ならではの遊びを元気いっぱい楽しみました。オクラもたくさん収穫することができ、「神さまにありがとうって言わないとねー。」と子どもたちの方から生長させてくださった神さまに感謝を伝えようとする気持ちがでてきて、とても嬉しく思いました。

ただいま、ひつじ組ではパラバルーンを楽しみ、様々な技にチャレンジしています。大きく膨らんだりしぼんだり、パラバルーンを持つと子どもたちの心も踊るようでとてもいきいきと表現しています。一人ではできないパラバルーン。音楽に合わせて気持ちと動きを一つにして、“みんなで一緒に”表現する喜びや楽しさを共有しながら、作り上げていきたいと思います。

今月も暑さに負けず、運動会に向けてかけっこ・パラバルーン・運動遊びなど体を思いきり動かして遊ぶ楽しさをたくさん感じていきたいと思います。



話し合いの時、自由制作で作ったAちゃんのロボットやBちゃんの人形、Cくんの望遠鏡など子どもたちの作品を紹介している時のこと

「すごい作ったやん！Aくん。」

「Bちゃんのお人形かわいいね。」

「ぼくも望遠鏡作ってみたい！」

Cくん、どうやって作るん？」など

友だちの作品を見て関心を持ち、

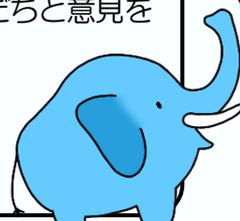
素直な言葉で友だちを認める

子どもたちの心に成長を

感じました。

毎日暑い日差しを浴びながらも、元気にたくましく過ごしていた子どもたちです。園庭に出ると、みんなで種まきをした朝顔やひまわりの観察をしたり、虫探しをしたりと額に汗をかきながら夢中で遊んでいました。また、虫の生態について、図鑑を使って調べる子どもや、自分で考察したことを友だちに伝える姿も見られました。生き物の命や不思議に出会い、様々なことを感じた夏でした。

そんな自然の中で遊ぶことが大好きなみんなが、楽しみにしていたデイキャンプが、いよいよ9月11日(金)にあります。カヌーに乗ることや、キャンプファイヤーをすることを伝えると、「やったー！楽しみ」と飛び上がるほど喜んでいました。グループの名前を決めたり、キャンプファイヤーのスタンツを考えたりと、準備を進める中で、友だちと意見を伝え合うこと、協力することの大切さを知ってほしいと考えています。そして、当日はそこでしか経験できないことをたっぷり楽しみ、忘れられない思い出の一日にしたいと思います。



朝顔の観察をしていた時のこと。

Aちゃん「先生、この朝顔、めっちゃ背が高くなったな！」

自分の背よりも高くなった朝顔のつるを見上げながらしみじみと言う姿に、その生長を喜んでいて、気持ちが伝わってきた一言でした。